福岡市育成会だより

第136号

この会報は、共同募金の配分を受けて作成したものです。
ありがとうございました

発行所　社会福祉法人　福岡市手をつなぐ育成会
〒810-0062 福岡市中央区荒戸３丁目3-39 福岡市市民福祉プラザ４階
TEL.０９２-７１３-１４８０

育成会の基本理念などについて

理事長　向井公太

年末を迎え、あわただしい季節となりました。

衆議院の解散と総選挙、厳しい国際情勢、明るい局面が見えない国内経済など世の中が混沌としています。障がい者福祉を取り巻く状況も障害者自立支援法改正法（いわゆるつなぎ法）の施行、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」（障害者総合支援法）の成立、障害者虐待防止法の施行、障害者差別禁止法案の検討などあわただしく動いています。

このようなあわただしい世の中であればこそ知的障がい者に関わる社会福祉法人として誤りない、的確な方向性を見出すことが必要であると思います。その一助として、去る10月30日に開催されました法人の理事会・評議員会において「社会福祉法人福岡市手をつなぐ育成会の基本理念について」を報告させていただきました。その内容は別記のとおり、「基本理念」と「取組みの方向」です。

大きな変化の渦中にある福祉の状況の中で、社会福祉法人として変わらなければならないもの、変わってはいけないものがあると思います。その思いをまとめ、職員、保護者の皆様からご意見や要望をいただきました。今後とも、皆様のご意見をいただきたいと思います。

また、福祉を取り巻くあわただしい状況の中にあって、大変重要ですが、前述の法律に比べて少し地味な法律が平成25年４月に施行されます。その法律の名称は「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律」です。略称、「障害者優先調達推進法」です。この法律の趣旨は、障がいのある人が自立した生活を送るためには、就労によって経済的な基盤を確立することが重要であり、このため、障がい者が就労する施設等の仕事を確保し、その経営基盤を強化する取組みが重要であり、障害者就労施設等への仕事の発注に関して取組みを推進し、国等による施設等からの物品等の調達を推進するための必要な措置を講じることを定めたものです。この中で障害者就労施設等とは当法人で言えばひまわり園や福岡ひまわりの里、ひまわりパーク六本松であり、その施設等の取組としては、清掃や物品販売などです。また、市や県等の地方公共団体は、受注機会の増大を図るための措置を講ずるよう努める責務があり、具体的には、調達方針の策定・公表、調達方針に即した調達の実施、調達実績の取りまとめ・公表を行わなければなりません。また、契約に際して競争入札参加資格を定める場合、障害者雇用率を満たしていることや施設等から相当程度の物品等を調達していることに配慮するなどの措置を行うよう努めることとなっています。いずれにしても社会福祉事業にかかわる我々自身の更なる頑張りが求められるところであると考えています。

【別　記】

社会福祉法人福岡市手をつなぐ育成会の基本理念について

1 基本理念

育成会成立の経緯を踏まえ、

・障がいのある人とその家族(保護者・兄弟・養護者を含む)のライフステージのあらゆる場面で障がいのある人を中心に支援を行います

・障がいのある人が地域でその人らしい生活がおくれるように地域に根付いた取組みを行います

・障がいのある人の尊厳を重んじその自立を支援し、権利保障に取り組みます

・事業にかかわるすべての人の人格を尊重します

2 取組みの方向

・保護者会と手をつなぎ、障がいのある人・家族の思いを尊重し事業を進めます

・障がい者団体をはじめ他の機関と連携を図り、地域に開かれた取組みを行います

・風通しがよく働き甲斐のある職場を目指します

・組織を整備し、財務の健全性を確保します

・事業を不断に見直し、業務の質の向上を追求します

・人材育成に努め、研修を計画的に行います

前回の育成会だよりから、テーマを決めて各事業所・施設からそれぞれの視点で報告させていただくことになりました。

さて、今回はその第2弾として、各施設と地域とのつながりについてです。

地域行事や施設のイベント、また地域での取り組まれている活動について、それぞれの事業所の取り組みについて報告させていただきます。

ひまわり園

地域との交流

ひまわり園の最大イベント『阿古女祭』を10月28日に開催しました。

ステージでは地域の中学校のブラスバンド演奏、保育所園児のダンスなどの披露で盛り上がりました。町内会をはじめ学生、社会人の方々約40名のボランティアさんにも販売や案内、駐車場整理等々にご協力をいただき、天気にも恵まれる中、来場者は750名を数え、地域での恒例行事として受け入れていただいているのを実感します。

また今年度からは年間を通した取り組みとして、姪浜校区での小学生登下校時の見守り『青パト』運行に参加し、毎週火曜日にハンドルを握っています。地域内を知るとともに、子どもたちへの声かけや同乗のPTAの保護者のみなさんとの会話は、緊張しながらも楽しい1時間です。

そのほか、近隣地域の小学生の施設見学や、敬老会への施設利用提供、園利用者による月に一度の近隣公園の清掃などしています。姪浜駅から南へ徒歩10分、住宅街にある施設として、地域の方々とふれあえるすばらしい環境で過ごせることを日々感謝しています。

福岡ひまわりの里

10月7日（日）第53回能古校区体育祭が開催され、今年も能古の地域の一つとして「福岡ひまわりの里チーム」で参加しました。ひまわりの里開所すぐから一般参加し、その後は能古地域とひまわりの里共催で実施しています。

当日は風が強かったものの秋晴れの気持ち良い天気でした。6地域（5つの地域＋ひまわりの里）の中で毎年最下位の成績ですが、ボウリングゲーム、障害物競争、リレー、盆踊りなど利用者の方は練習の成果が発揮でき、また、地域、保護者の方々からのあたたかい拍手などの声援もあって、晴れやかな表情が出ていました。

夏祭り、体育祭を地域と実施していくことで、地域の方々から利用者の顔や名前も覚えていただき、声をかけてもらう機会も増えました。地域から受け入れていただいている、と日々実感しています。

利用者の高齢化がすすみ、体育祭の競技へ全員参加する事が難しくなっていますが、

今後も地域との連携を強化しながらより楽しい体育祭にしていきたいと思っています。また、行事を地域と共催して積み重ねてきたことを、より利用者支援につながるよう発展させたいと思っています。

ひまわりパーク六本松

当事業所がある草ヶ江校区は、草香江・谷・六本松の三町から成り立っています。バス路線はもとより地下鉄七隈線も通っていて交通の便がよく、また九州大学六本松跡地の開発も予定され、さらなる発展が期待されている地域です。

地域との交流は事業計画にも示しているように、事業運営上大事な取り組みとして捉えています。まずは地域の美化に努めることとし、定期的な清掃を計画しました。特に開所当初は仕事があまり忙しくなかったこともあり、毎日のように皆で清掃にでかけました。また余暇支援の取り組みのうち茶道・調理は地域の窓口である公民館を利用し、毎日の体操も公園で行っています。

公民館等の活用は事業所の設備上の課題からではありましたが、このような取り組みが交流の機会となり、最近は挨拶や声掛けをしていただくことが増えました。地域の祭りにも出店させていただき、事業所の活動を理解・協力していただいていることに感謝している次第です。

いつでも気軽に立ち寄っていただける、そんな地域の社会資源として機能するように努めていきたいと思います。

地域活動支援センターつぼみ

・地域清掃について

平成十九年福浜に移転して、ご近所回りをしたなかで、偶数月の第三日曜日午前八時より自宅周りの清掃をされている事を知り、職員交替で参加したのが、ご近所との最初の関わりでした。しかし、八時には殆ど清掃は終了している状態でした。二十二年に町費の集金に来られた方が、「此処に居住されてないので、町費を増額することで町内清掃を免除します。近くにある会社もそうされていますよ」と話があり、現在は免除してもらっていますが、常に住宅周りは清掃をしています。

・福浜夏まつりに参加

毎年八月に、福浜小学校で開催される夏祭りに三年間参加しバザーを出店しましたが、開催日前後にテント張りや撤収作業があり、職員二名では対応が厳しい状況となっています。

・ご近所応援団について

前理事の中村憲一さんが、ご近所応援団の会長だったことで、前保護者会会長井上絹代さんに「つぼみ」も参加されてはと、話があり、二十年から参加するようになりました。西日本短期大学、唐人町、福浜にある施設関係者が集まり、主に「宅老所よりあい」を利用されている方の応援団ということから、始まりました。定例会は、毎月開かれ会場は、持ち回りで、はなみずき園エレガンス福岡、おおほり苑、西日本短期大学、宅老所等で、つぼみでも行いました。定例会では、それぞれが今抱えている問題などを話し合いました。現在は、時間的なこともあり、参加しておりません。

また、西日本短期大学の造園科の先生から「学生に庭の剪定をさせてほしい」と依頼があり何度か来ていただきました。そのときの学生さんが、卒業されるときに「花を扱ってる所に就職が決まりました」と挨拶に来られました。

つぼみのご近所との関わりは、この様な関わりを含め日々のご挨拶を全員で努めています。

働きやすい職場をめざして

理事　牟田勝則

堀次長から「育成会だよりの原稿を」と依頼がありました。内容は現在取り組んでいる事をとのこと。「ウーン」今は理事長の指示で育成会の規程の見直しに取り組んでいるのですが、これを文章化するのは難しい…

育成会は伝統ある社会福祉法人ですから関係規程は整備されているのですが、規程があまり活用されていないのかな?組織の隅々まで周知されていないのかな?であれば、皆さんに「手軽で解り易くしろ」という意味かなと自分勝手に解釈して不慣れな作業に手を染め始めました。

定款をはじめ育成会には多くの規程がありますが、これらは何故あるのでしょう。それは法人の目的を達成するために有るのでしょう。（定款第1条を読まれましたか?）目的を達成するために、一人ひとりがバラバラに動けばとても目的は達成できませんし、効率も悪くなります。そこで、先人達が工夫に工夫を重ねて出来た「約束ごと」が規程だと私は考えています。

約束ごとは時代の流れにも対応しなければなりません。今の世の中、情報化、グローバル化など一昔前には考えられなかったスピードで変化しています。遠くの出来事がすぐ身近な問題となったりしますのでアンテナを高くしておく必要があります。

見直し作業をすすめる中で心がけている事があります。それは、職員一人ひとりが法人の目的達成に向けて働きやすいと言うか、働き甲斐のある職場をめざしたいということです。そのことが結果として利用者へのサービス向上につながり、また、保護者の方々からも高い信頼を得ることができると思うからです。

日々寒さも厳しくなります。身体に気をつけて冬を乗り切り、手をつないで春を迎えましょう。

◎法人職員合同研修会報告について

去る、10月10日（水）と19日（金）の2日に分けて福岡市市民福祉プラザで障害者虐待防止法について法人職員を対象とした研修会を実施しました。

講師として当法人の理事でもある岩城和代弁護士をお迎えし、障害者虐待防止法の制定の背景や理念、定義について、また虐待を発見した時の対応や手段について具体的な事例を交えわかりやすくご説明いただきました。

虐待は絶対あってはならない事ですが、残念なことにテレビや新聞で虐待事件が頻繁に報道されています。また虐待を行う側と虐待を受ける側がお互いその事実を認識せず日常化しているケースもあります。

今回の研修を受け、福岡市手をつなぐ育成会では障がい者虐待を防止し、みんなが安心して活き活き暮らせるような支援をより一層進めて行きます。

第5回福岡市障がい者（児）美術展（福岡コアサイド・アート2012）

11月6日（火）から11月11日（日）まで福岡市美術館市民ギャラリーにて第5回福岡市障がい者（児）美術展（福岡コアサイド・アート2012）が開催されました。

育成会も実行委員会の一員として展示と表彰式を主に担当しましたが、今年度は、アート（平面と立体）部門と小中学生の作品部門が新設され、これまで以上に自由でユニークな作品が集まりました。

来場者も約1，500人と前年度を超える方々が来場され、盛会のうちに終えることができました。

また、11月11日に行われた入賞者の表彰式終了後に、音楽もアートの一部として筑紫野市にある知的障がい者の音楽バンド「ピュアハート」による演奏会が行われ、楽しく素晴らしい演奏に会場も大変盛り上がりました。

なお、平成25年1月28日（月）～2月3日（日）に入賞者の作品を福岡市中央区天神新天町の「ギャラリー風」で展示を予定しておりますので、皆様のご来店を心からお待ち申し上げます。

第5回福岡市障がい者（児）美術展 福岡市手をつなぐ育成会　表彰者

絵画部門　入賞　秋穂　治巳
（ひまわりパーク六本松）
書道部門　入賞　石橋　和巳
（清掃事業部）

受賞おめでとうございます！

入賞　下川　薫（個人会員）

陶芸部門　入賞　谷口　喜美子（清掃事業部）

入賞　柴田　哲也（ひまわり園）

フリー部門　入賞　東上　直也（ひまわり園）

第61回全日本手をつなぐ育成会全国大会高知大会参加報告について

10月27日(土)～10月28日(日)の2日間、高知県高知市で第61回全日本手をつなぐ育成会全国大会高知大会が開催されました。

「人としての幸せを求めて～生きることの喜びを感じられる社会づくり～」をスローガンに全国から2000人を超える保護者・本人・関係者が一堂に会し、障がいのある人たちが、地域社会であたりまえの暮らしを実現できる制度や仕組みづくり(共生社会の実現)や昨年で発足60周年を迎え今後新たな育成会の活動についてなど、活発な意見交換や討論が行われました。

初日は、分科会と本人大会が行われ、分科会は、療育・教育、労働・雇用、施設・地域資源、権利擁護と家族支援、親の会活動に分かれ、それぞれの立場から情報交換や意見交換がおこなわれました。本人大会はふれあい体験観光コース、本人の発表、東北の震災に被災された利用者の報告、また特別分科会として、福岡市でも行われた「本人の知る見るワークショップ」も開催され大いに盛り上がりました。

2日目は全体会が行われ、高知県知事、高知市長を初めとする多数のご来賓をお迎えし表彰状、感謝状贈呈、全日本手をつなぐ育成会の北原守理事長より中央情勢報告があり、午後からは、記念講演として厚生労働省社会・援護局　村木厚子局長より「支えること　支えられること」と題し講演が行われました。

大会は本大会と本人大会がそれぞれ大会決議を採択し、盛会裡のうちに閉会しました。

なお来年の全国大会は九州地区で大分県(九州地区手をつなぐ育成会大会の併催)で行われます。

新理事・新監事紹介

先日の理事会・評議委員会で左記の方が委嘱されました。2年間よろしくお願いします。

■新理事

任期（平成24年11月1日より平成26年10月30日まで）〈敬称略〉

向井　公太
松村　緑
岩城　和代
関　敏巳
荒浪　聖
川上　森
藤田　富雄
牟田　勝則
下山　いわ子

■新監事

任期（平成24年11月1日より平成26年10月30日まで）〈敬称略〉

和佐　優
田良島　博

評議員退任

山村　照子

山村様には長年に亘り評議員を務めていただきましたが、10月9日をもって退任されました。育成会へ長年ご尽力いただき深くお礼申しあげます。

この広告は商品の概要を説明しております。ご契約の際には必ず「パンフレット」「重要事項説明書」をご確認ください。

Z012-1010N00

知的障がい　発達障がい　ダウン症

充実した保障で大切なお子様をお守りします。

ぜんちの あんしん保険
少額短期健康総合保険（無告知型）

年払い保険料 15,000円（Aプランの場合）

○付添看護や差額ベッド使用の有無にかかわらず、一泊二日以上の入院を**初日から一日あたり10,000円**保障。

○個人賠償責任補償は**最高1,000万円**。支払回数による金額の制限はありません。（一保険期間のお支払合計額は1,000万円までとなります。）

○保険料は年齢、性別によらず一定です。

詳しい資料のご請求は右記までお願いします。

○募集代理店
株式会社 グッド・サポート
〒812-0037　福岡県福岡市博多区御供所町2-6 博多パルビル３階
TEL 092-263-6771

○引受保険会社
ともに助け、ともに生きる
ぜんち共済株式会社
関東財務局長（少額短期保険）第14号
〒101-0032 東京都千代田区岩本町三丁目5番8号 岩本町シティプラザビル5階

保護者会だより

求める終の棲家を存分に語る会・開催中

10月31日第1回の終の棲家を求める討論会で参加者の発言は熱いものがありました。

昨年度も数回にわたって特別に話合いが行われたにもかかわらず、総論賛成だが我が家はまだ必要なしの各論反対が多く、これ以上の議論は暗礁に乗り上げました。

語る会で、熱い討論になったのは、育成会の最大で最初からの願いは「親亡き後の心配を無くす」ことだった筈なのに、目先のささやかな安穏に目を奪われて、我が子らが一人で生きていけない障がい者であることから目を背けて来たからでしょうか。

また、親許を離れて暮らす入所施設の内容が安心・安堵と言えない政府基準の貧しさに躊躇し続けて、親がぎりぎりまで障がいの我が子を抱え続け、今、急速に問題解決の必要を自覚したという声が高まったのでしょうか。

知的障がい者は、軽度で、たとえ企業就労できても、一人で生活全般をやりくりして働き続けて生きることは出来ない人が殆どです。

生活用具が電化されガス使用もある住居の管理は、不可能に近く、配偶者を得ることも困難です

ゆったりした30坪以上の自宅を親から譲り受けても一人では暮らせないことでしょう。

分かり切ったこれらの事実を直視せず、自らの老いで愕然としていることの反省と我が子らに恥じることを行動の第一歩としたいものです。

一人ひとりが声と心を合わせ、願いの実現を！

「求めよさらば与えられん」「叩けよさらば開かれん」「全ての日本国民は健康にして文化的な生活を営む権利を有する」・・・私達を励ます偉人の言葉や日本国憲法、近くは「国連障害者権利条約」（120ヶ国を超える国々が批准をしているのに日本はまだです）も願いが叶えられる道を示しているのに、求めぬ者には棚ぼたは落ちてこないでしょう。

財産をもつオーナーがいない育成会は、一人ひとりが育成会を背負っています。

知的障がいをもつ人たちの問題を解決するために、会員一人ひとりの声の集まりと問題に立ち向かおうとする情熱を頼りにしなければ、育成会保護者会は、動けないのです。

制度の勉強のみならず、制度を120％利用出来る知恵、制度改善を迫る行動力などなど、誰かさん頼みでは「親なき後の安心」はないからこそ、育成会に団結したことを、もう一度噛みしめて『我が子らの終の棲家づくりのために、行動すること』に親の炎を燃やしましょう。

役員研修報告

今年度は運動力を付けようと、役員研修を行っています

【第1回】 葦の家福祉会の友廣道雄氏に、葦の家の歴史や現状をお話しいただく中から、私たち育成会保護者会の今後の運動の方向性を考えました。

【第2回】 福岡市育成会の歴史を、西柳静枝様・井上絹代様よりうかがいました。

感想

『親の高齢化も進んでいるのに、なかなか障がいをもつ子どもを施設入所させていない実態をあげられ、なぜ入所へと、行動出来ないのか？親を責めるのではなく、それは、親として安心出来る施設がない、という事。そういった不安を取り除き、障がいをもつ方々の住みよい環境を作る為にも、制度の改善、運動は続けていかなければならないと話された。友廣氏の障がい者に対する熱意を感じると共に、私達親も、頑張らねば思わされた研修だった。』

『行政機関に声を届ける事は実現するまで様々なご苦労があり、本当に大変な思いをされたのだと、只々、頭の下がる思いがした。先輩お母さん方の様に、実行へとなかなか移せないが、少しでも出来る事から、先輩方のバトンを次へと繋げられるよう親同士の結束をはかりながら、前進していかなければと思った。』

幼児学齢部会

七回目の療育キャンプ開催!!

10月20日～21日・海の中道青少年海の家で開催。

☆参加者にレポートをお願いしました。→【参加は年長から高校生までと幅広く、子どもにはマンツーマンで学生ボランティアがつき、特別支援教育に携わる専門家がフォローに入る安心感が最大の特長といえます。

1日目、親子分離後子どもはマリンワールドへお出かけ、夕食入浴の後にパネルシアター等を楽しみ、満天の星空を眺めて就寝しました。

保護者は2班に分かれて専門家の思春期やことばの講義を受けました。

私は参加3回目ですが、年に一度子どもや家族、自分自身を見つめ直す大切な時間となっています。夜も子どもとは別室で母親同士進路相談からプライベートまで楽しく話がはずみました。

2日目、子どもはミニ運動会、保護者は懇談会を行いました。最後は参加者全員で、思い思いの楽器を手に音楽遊びを楽しみました。

年一回の行事で、我が子の成長や課題も見えてきます。また家族以外の方の支援の元、楽しく活動することは本人にとって自信につながる貴重な体験といえます。

これらは専門家の先生方のきめ細かな配慮、ボランティアの献身的サポート、保護者会キャンプ担当者の綿密な企画運営があればこそと感謝しています。ありがとうございました。】

保護者のための作業体験実施

今年度も、11月8日（木）4名、13日（火）3名、ひまわり園の協力があり実施できました。

市内の知的特別支援学校、小中特別支援学級及び通園施設の保護者に案内を配布し、高等部から就学前まで、幅広い保護者の参加がありました。

当日は、ひまわり園施設長より概要説明があり、パン班・製菓班は、窓ごしの見学のみでしたが、木工班では磨き作業、手芸班では刺繍、陶芸班では箸置き製作を体験しました。

体験終了後の質疑応答やアンケートより『集中力が大切だと感じた』『利用者の方の器用さに感心した』『作業は、楽しかった』『実際に利用者の方々と作業をしたり給食を食べたりしながら、職員の方と利用者の方との関わりを近くで感じる事ができた』『わが子の将来の為にいろんな施設をみてみたい、と思う良いきっかけになった』等、参加者の様々な感想です。

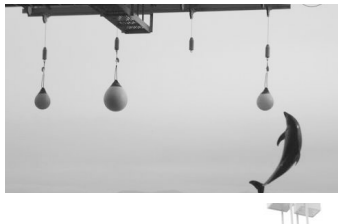
改めて育成会独自に企画している保護者のための作業体験は、子どもの進路や将来を考える助けになることを痛感しました。

地域生活支援部会

みかん狩り・マリンワールドに行きました！

参加は、40名（本人17名・保護者含めて支援者13名）

「雨の予報で、心配したけど、ふらなくてよかった～」「黄色のみかんを見ると、ついつい採っちゃった！」「久しぶりのマリンワールドも、たのしめました。」ご家族にお土産を買って帰られた本人さんもいらっしゃいました。



阿古女祭出店のお礼

バザー品のご提供、ありがとうございました。
純益は、６７,３８０円でした。

保護者会ホームページができました！

http://www.fiku.jp/hogoshakai/index.shtml

活動のご案内・報告を、随時公開しています。開いてご覧ください。また、ご意見など、お問い合わせフォームから、お寄せください。

ホームページリニューアルのお知らせ

10月30日に福岡市手をつなぐ育成会のホームページをリニューアルしました。

今年度より法人内でホームページ作成委員会を立ち上げ、長時間の検討を重ねついに完成し公開に漕ぎ着けました。

今回のホームページは法人、施設、そして新たに保護者会が、それぞれ特色あるページで最新の情報をお伝えしますので、ぜひ新しいホームページをご覧ください。

www.fiku.jp

表彰おめでとうございます！

第61回 全日本手をつなぐ育成会全国大会高知大会

2012年度社会福祉法人全日本手をつなぐ育成会理事長表彰

伊達　美奈子

寄付金のお礼（平成24年10月）

ひまわり園へ
廣木　紀美代　様

福岡ひまわりの里へ
田中　春子　様

ひまわりパーク六本松へ
木塚　忠広　様
ひまわりパーク六本松保護者会　様

法人へ
富永　美千代　様
遠藤　進　様
佐藤　嗣信　様

利用者のために大切に使わせていただきます。

福浜に新設予定の施設名称が決まりました！

平成25年3月、中央区福浜に開設予定の施設の名称を募集しておりましたが、先日開催した名称選考委員会において「ひまわりパークつぼみ」に決定いたしました。

多くの皆様にご応募いただきましたが、以下による厳正な選考の結果、名称を決定いたしました。ご応募いただきました皆様に心から感謝申し上げますと共に、これからも益々のご支援をよろしくお願い申し上げます。

一　選考日時　12月6日（木）
午後4時30分～

二　選考委員　事業部プロジェクト・ワーキング会議メンバー
（事業部従業員・事業部職員・保護者・事務局等）

三　応募名称数　18点

四　選考方法
1次選考　委員の投票により上位3点を選出
2次選考　1次選考の中から投票により1点を選出

五　当選名称
「ひまわりパークつぼみ」
※新たな施設間の連携性と今までの活動支援センター「つぼみ」の名前を残したい思いで名称を考えられました。

六　応募当選者　原田　スミエ

福岡市福祉のまちづくり推進大会における表彰について

11月2日（金）に福岡市民会館で「平成24年度福岡市福祉のまちづくり推進大会」が開催され、福祉の向上に貢献された方が表彰を受けられました。育成会関係の方は次の6名の方です。福祉へのご貢献ありがとうございました。そして、受賞おめでとうございました。

市長感謝状
障がい者更生援護者（私人であって、障がい者の自立更生に向けた支援、相談等に尽力した功績による）
宗倉　美代子　活動内容：相談・援助活動
戸張　雅子　活動内容：相談・援助活動
永井　夏代　活動内容：相談・援助活動

市社会福祉協議会会長表彰
障がい者自立更生者（自らの障がいを克服し、自立更生して他の障がい者の模範となっている功績による）
榎嶋　晃　職業：清掃従業員
北島　和樹　職業：会社員
柳生　加緒里　職業：菓子舗従業員